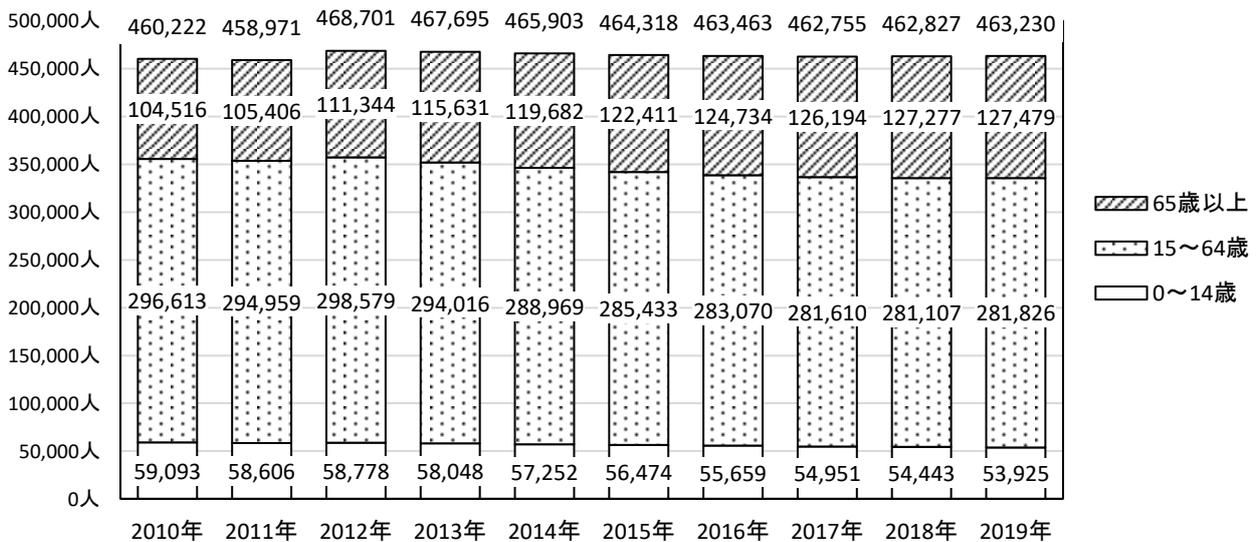


## 尼崎市における現状

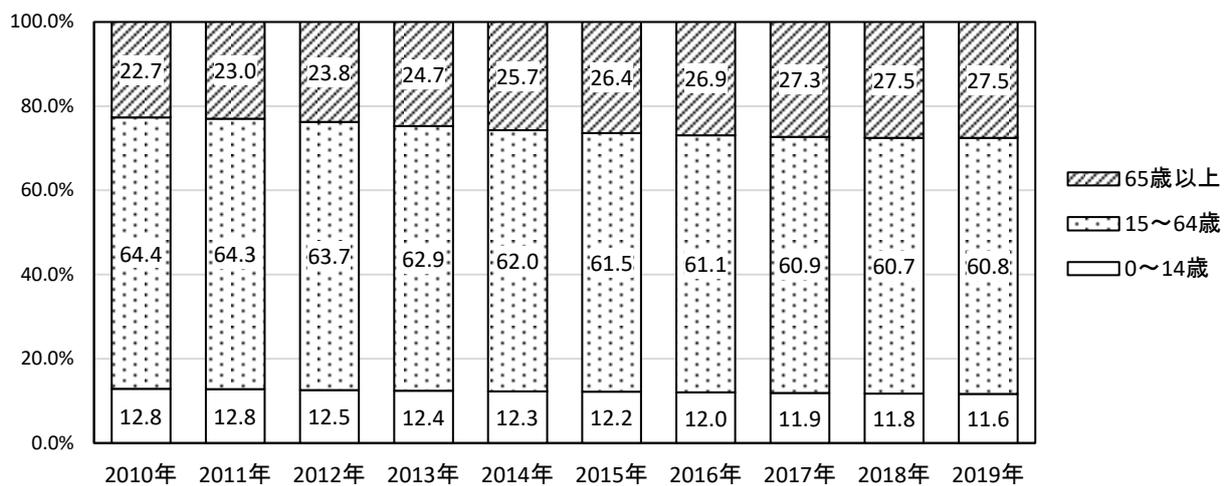
## 1 人口

- 総人口は増減を繰り返しながら、2017年以降はゆるやかに増加傾向。
- 高齢者人口は年々増加しており、2019年で127,479人、高齢化率は27.5%。

年齢3区分別人口の推移



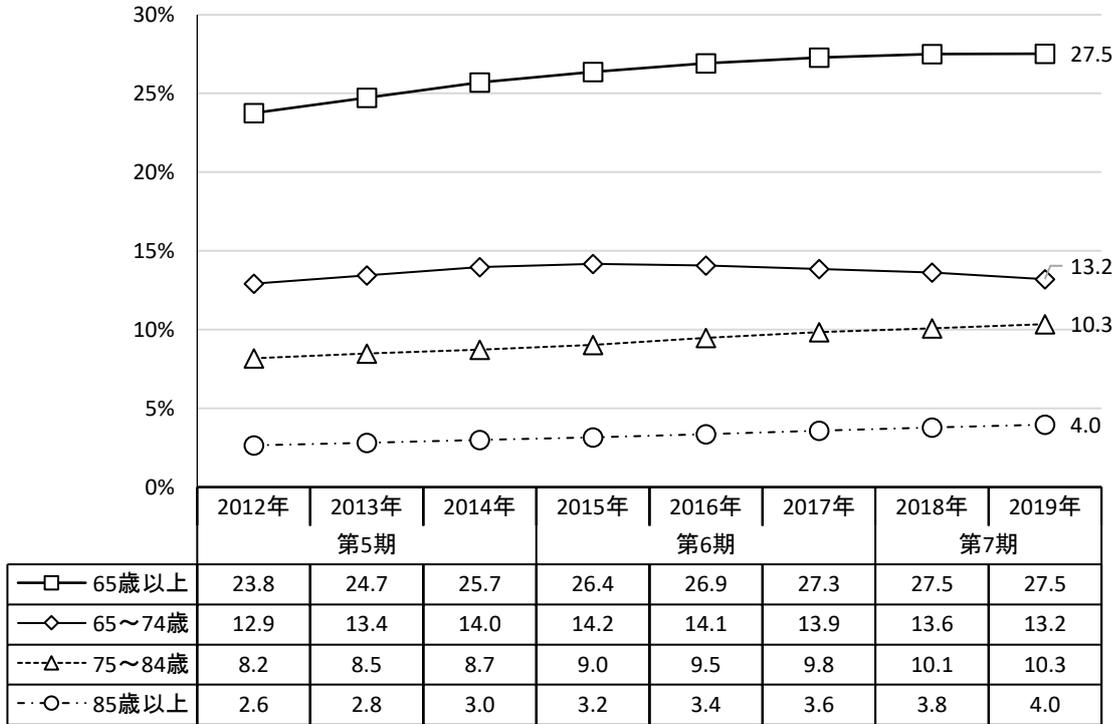
年齢3区分別人口割合の推移



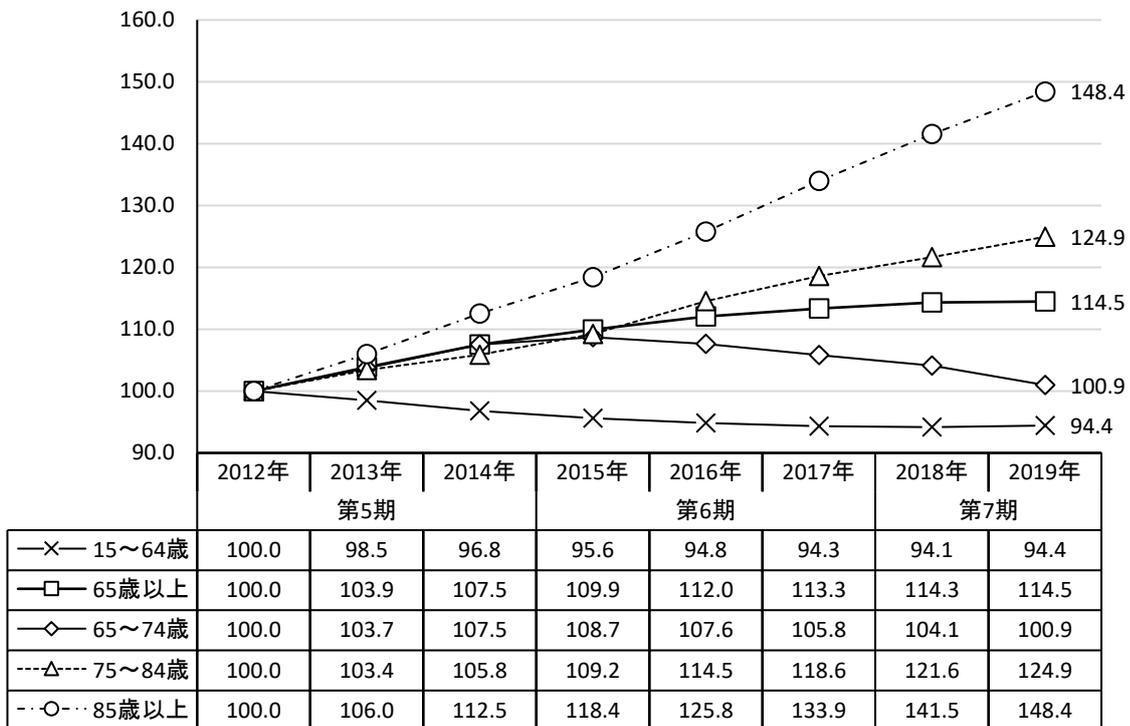
資料：尼崎市「住民基本台帳（各年9月末現在）」

- 高齢化率（65歳以上高齢者割合）は年々増加している中、65～74歳は減少、75～84歳・85歳以上高齢者割合は増加傾向。
- 2012年を100.0とした人口指数をみると、75歳以上の後期高齢者の増加が著しく、特に85歳以上高齢者の増加大きい。15～64歳（生産年齢人口）は減少傾向。

高齢者割合の推移



人口指数（2012年=100.0）

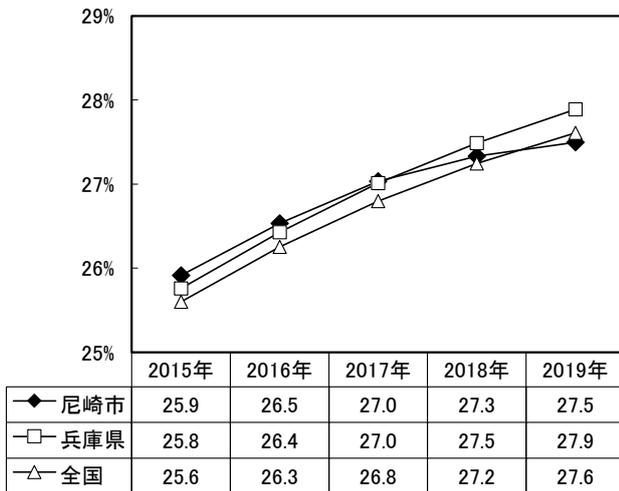


資料：尼崎市「住民基本台帳（各年9月末現在）」

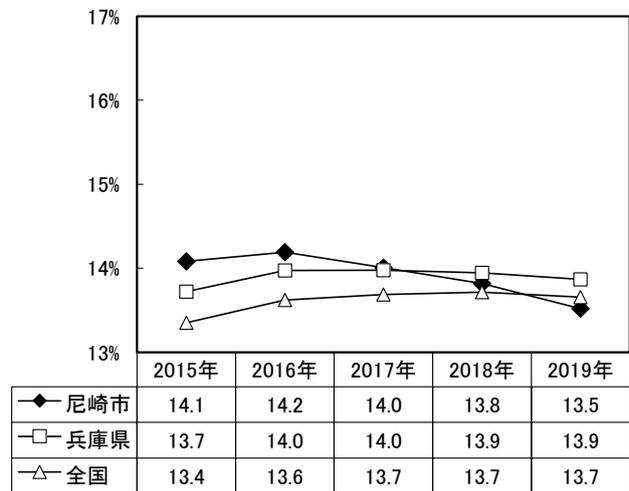
- 高齢者割合（高齢化率）は 2019 年で全国・兵庫県よりも低い状況。（全国や兵庫県に比べて若年層の人口減が小さい）
- 2019 年において、前期高齢者割合・85 歳以上高齢者割合は全国・兵庫県より低く、後期高齢者割合は同じ。

### 高齢者割合の推移【全国・兵庫県との比較】

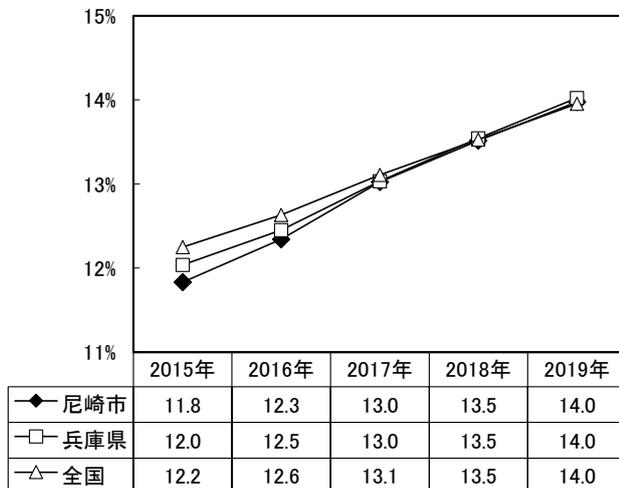
高齢者割合（高齢化率）



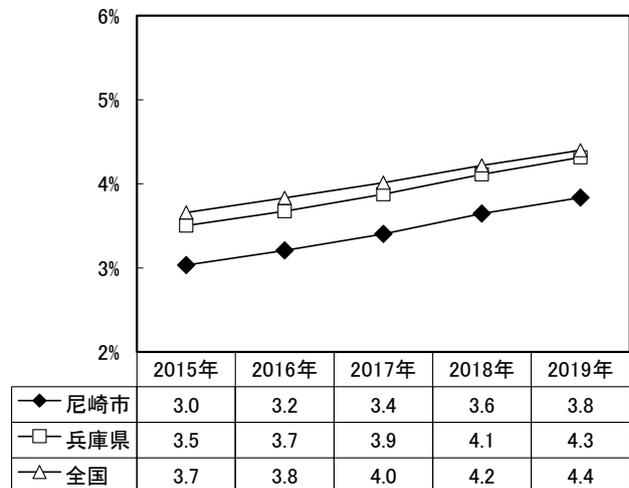
前期高齢者割合



後期高齢者割合



85 歳以上高齢者割合



資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（各年1月1日現在）」

## 2 要支援・要介護認定者

- 要支援・要介護認定者は年々増加しており、2019年で28,901人。
- 要介護認定者が全体の64.2%を占める。区分としては要支援1が最も多い(18.4%)。
- 年齢別にみると、認定者の約8割が75歳以上高齢者。75～84歳で41.8%、85歳以上で43.0%となっている。

要支援・要介護認定者数の推移

	人数					構成比				
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
要支援1	5,153	5,008	4,872	4,993	5,308	19.5	18.4	17.8	17.8	18.4
要支援2	4,638	4,657	4,664	4,745	5,032	17.6	17.1	17.0	16.9	17.4
要介護1	4,309	4,553	4,639	4,763	4,797	16.3	16.8	16.9	17.0	16.6
要介護2	4,266	4,537	4,615	4,637	4,722	16.2	16.7	16.8	16.5	16.3
要介護3	3,114	3,251	3,394	3,523	3,526	11.8	12.0	12.4	12.6	12.2
要介護4	2,651	2,807	2,885	3,000	3,116	10.0	10.3	10.5	10.7	10.8
要介護5	2,278	2,369	2,363	2,371	2,400	8.6	8.7	8.6	8.5	8.3
要支援	9,791	9,665	9,536	9,738	10,340	37.1	35.6	34.8	34.7	35.8
要介護	16,618	17,517	17,896	18,294	18,561	62.9	64.4	65.2	65.3	64.2
合計	26,409	27,182	27,432	28,032	28,901	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

年齢別要支援・要介護認定者数の推移

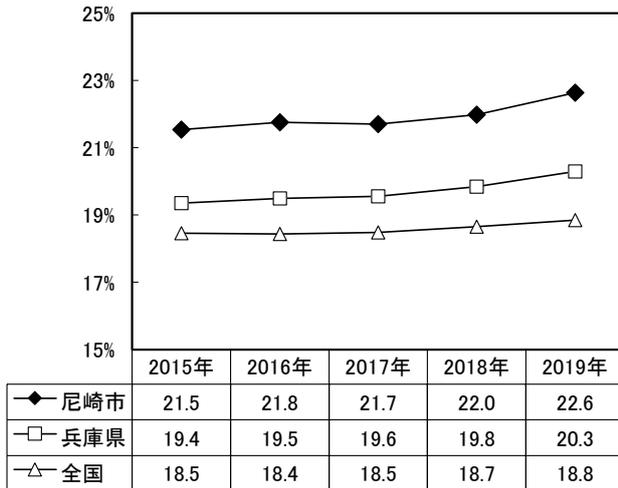
		人数					構成比				
		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
全体(第2号含む)		26,409	27,182	27,432	28,032	28,901	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
内訳	40～64歳	588	563	534	518	544	2.2	2.1	1.9	1.8	1.9
	65～74歳	4,232	4,176	3,944	3,910	3,833	16.0	15.4	14.4	13.9	13.3
	75歳以上	21,589	22,443	22,954	23,604	24,524	81.7	82.6	83.7	84.2	84.9
	(別掲)75～84歳	-	-	-	11,705	12,083	-	-	-	41.8	41.8
	(別掲)85歳以上	-	-	-	11,899	12,441	-	-	-	42.4	43.0

資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告（各年9月月報）」

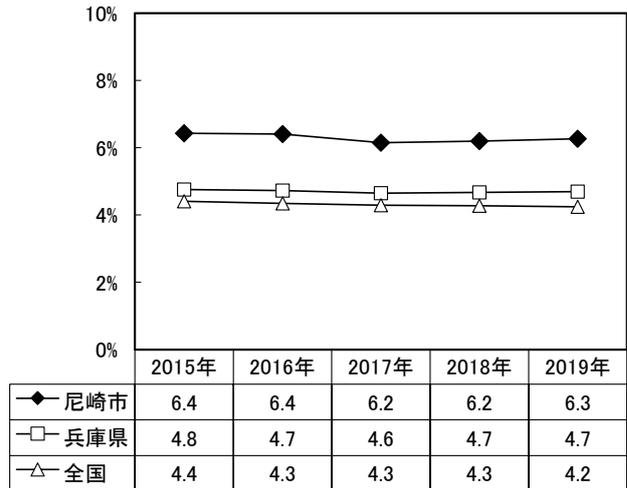
- 2019年の要支援・要介護認定率は22.6%で、全国・兵庫県よりも高く、年々上昇傾向。
- 前期高齢者は横ばい、後期高齢者は減少傾向にあるものの、前期高齢者・後期高齢者ともに全国・兵庫県よりも高い。
- 年齢別にみると、前期高齢者（65～74歳）で6.3%、75～84歳で25.1%、85歳以上で67.3%と、85歳以上の約7割が認定者となっている。

### 要支援・要介護認定率の状況

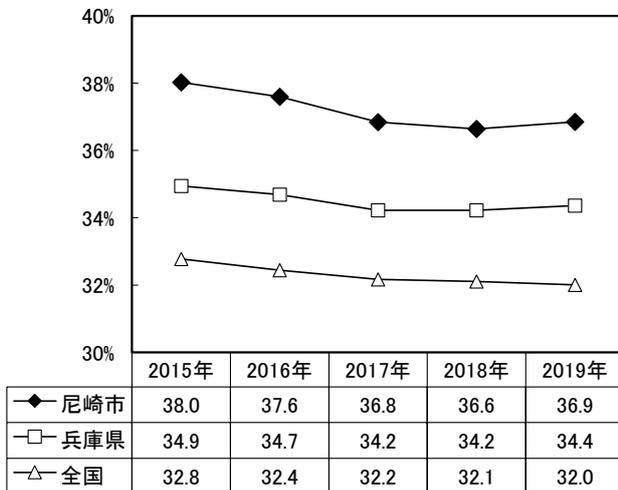
要支援・要介護認定率の推移（第2号含む）



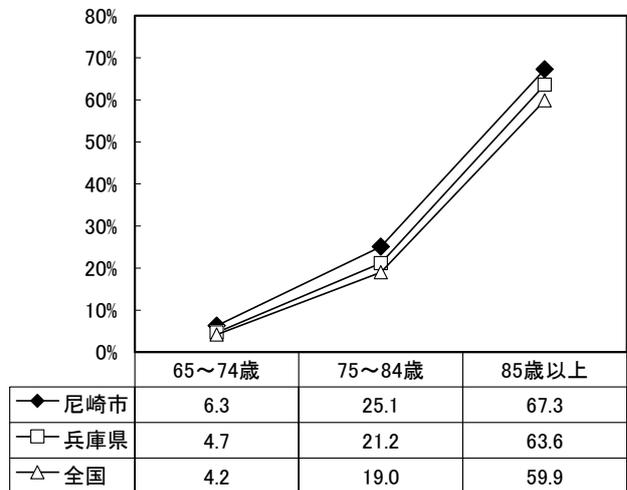
前期高齢者の要支援・要介護認定率



後期高齢者の要支援・要介護認定率



年齢別要支援・要介護認定率（2019年）

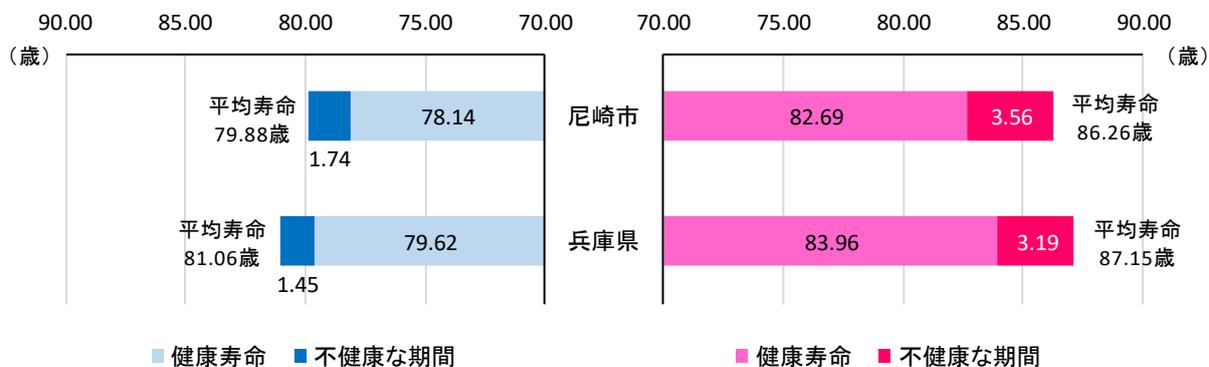


資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告（各年9月月報）」

### 3 健康寿命

●男女とも、兵庫県に比べて平均寿命・健康寿命の期間が短い一方で、不健康な期間は長い。

平均寿命と健康寿命（平成 27 年）



資料：兵庫県健康福祉部健康局健康増進課による算出

※上記の健康寿命は、平成 24 年 9 月公表「健康寿命の算定方法の指針：健康寿命の算定プログラム(2015)\*1」を使用し、健康な状態を「日常生活動作が自立していること」と規定し、介護保険の要介護度の要介護 2～5 を不健康（要介護）な状態とし、それ以外を健康（自立）な状態として算定されています。

\*1 「健康寿命の算定方法の指針：健康寿命の算定プログラム(2015)」：厚生労働省研究事業（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）による指針